

霞ヶ浦の魚

年 組 番
名前

魚やエビ，貝のなかま

魚介類



コイ



ギンブナ



シラウオ



アカヒレタビラ



ワカサギ



アシシロハゼ



テナガエビ



イサザアミ



イシガイ



イケチョウガイ

霞ヶ浦には、たくさんの魚がすんでいます。おもなものとして、コイ、フナ、ワカサギ、タナゴ、ハゼなどがあげられます。最近^{さいきん}は、外国から入ってきたブラックバスやブルーギル、アメリカナマズが増えて問題となっています。この他^{おおがた}、大型^{がいらいさかな}の外来魚としてはハクレンやソウギョがすんでいます。

外来魚について

茨城^{みずうみ}の湖^{ぬま}や沼には約60種類^{しゅるい}の魚がすんでいます。その中には外国から入ってきた種類^{しゅるい}の魚たち(外来魚)も含まれています。最近^{さいきん}の外来魚としては、ブラックバス、ブルーギル、ペヘレイ、アメリカナマズの4種類^{しゅるい}です。ブラックバスは、海のスズキやハタの仲間に近い淡水魚^{たんすいぎょ}(湖や川に住む魚)で、別名をオオクチバスといいます。体長はおよそ30cm、大きいものだと50cmぐらいにもなります。もとは北アメリカにすんでいる魚です。近年では少なくなってきました。ブルーギルは大きくなると体長20cmぐらいになります。もとは北アメリカにすむ魚です。ブラックバスはテナガエビやハゼなどの魚をよく食べます。ブルーギルはイサザアミや動物プランクトン、ユスリカなどの昆虫^{こんちゅう}からテナガエビ、魚の子供(稚魚^{ちぎょ})までいろいろなものを食べます。ペヘレイは南アメリカにすんでいる魚です。この魚は沖合から湖岸まで広くすんでいて、おもにイサザアミや動物プランクトン^{どうぶつ}などを食べています。他の県では養殖^{ようしよく}しているところもありますが、日本で自然^{しぜん}にふえているのがわかつているのは霞ヶ浦だけです。これらの外来魚は、もともとすんでいた魚たち(在来種^{ざいらいしゅ})とえさやすみ場所をめぐってあそびたり、食べたりするので、生態系^{せいたいけい}がかわってしまうかもしれません。また、霞ヶ浦の漁業者^{ぎょぎょうしゃ}にとっては、とったワカサギやテナガエビなどからこれらの外来魚を取りのぞくというてまができてしまいました。



ブラックバス
(オオクチバス)



ブルーギル



ペヘレイ



アメリカナマズ
(チャネルキャット
フィッシュ)



ハクレン



ソウギョ

* その他学習資料 環境科学センター・霞ヶ浦河川事務所・水産試験場内水面支場
霞ヶ浦北浦水産振興協議会